

平成30年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

		中学1年 平成30年度重点目標															
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	①「学力向上に向けて」														
			目標	①将来グローバルに活躍できる人材の育成をめざし、基礎学力の向上、学習意欲の喚起を行っていく。													
				②生徒が自ら学ぶ姿勢、自分の意見を表現する姿勢を定着できる授業を展開していく。													
		③自らの意欲を高めていくために、各種検定に目標値を設定し、取得させていく。															
		達成方法	①「わかば」や定期考査の学習を通じ、学習のスケジュール管理ができるように指導していく。ガイダンスや授業を通して、長期的スパンで自己研鑽に励むための学習法を考えさせる。各種小テストや補習などの取り組みを徹底的に行い、学力の定着化を進めていく。														
			②授業内でタブレットを積極的に活用し、思考・意見発表の機会を積極的に設定する。スタディサプリの活用や朝学習の定着により、自ら学習する習慣の定着を図るようにしていく。														
	③進路実現のため、主軸となる英語について英検4級の全員取得を目標とし、漢検・数検にも積極的に取り組ませる。																
	達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目2	②「生きる力育成に向けて」														
			目標	①基本的な生活習慣の基礎を身に着けるため、時間管理や礼儀にかなった作法を自主的にできるように育てる。													
				②社会人に必要な生活の基本となる「7つのルール」について徹底的に取り組み、学力と人間力の繋がりを意識できるように指導していく。													
		③多様性を尊重し、様々な文化、価値観を持つ人と協働できるマインドを涵養する。															
		達成方法	①挨拶や時間の管理など、共同生活の中でのみ身に着けられることをしっかりと指導していく。														
②ガイダンスや集会でメモを取ることを身体化させ「聞く」姿勢を身につけ、振り返りを行うことで意識づけをし、実践に繋げていく。																	
③様々な価値観、環境の人と接し、他者との違いを受け入れられる力を養う。																	
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																
	目標	①学校評価を実施することにより、改善・改革と教育活動の向上を図っていく。															
		②開かれた学校を目指し、情報公開を進めていく。															
達成方法	①授業参観を学期ごとに実施し、教育活動の視覚化を進めていき、保護者からの意見を検討していく。																
	②定期的な学校だより・学級通信・学年通信・進路部通信・生徒部通信等を通して、積極的に活動報告や情報公開をすすめていく。																
		項目1	項目2	項目3													
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度										
部署コード/平均		3.83	2.92	3.92	3.00	3.42	3.17										
1		4	4	4	3	3	3										
2		4	3	3	3	3	3										
3		4	2	4	3	4	3										
4		4	3	4	2	3	3										
5		4	3	4	3	4	3										
6		3	3	4	3	3	3										
7		4	3	4	3	3	3										
8		4	3	4	3	4	3										
9		3	2	4	3	4	4										
10		4	3	4	3	3	2										
11		4	3	4	3	3	4										
12		4	3	4	4	4	4										
<p><取組状況・次年度への課題など></p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力向上、学習意欲の涵養については、普段の授業態度や講習への出席率の高さなどから期待のできる状況ではある。今後、特に英語の基礎学力向上に向けて継続的に取り組める企画をし、勉強の習慣化を更に促進していく。 タブレットの積極的活用は学年全体で浸透できている。スタディサプリの活用に関しては、数学以外の教科でも利用頻度を高めていく。 検定の活用に関しては、特に2年生になってから漢検や数検の積極的活用を促していく。 生活面において、あいさつやメモを取る習慣などは個人差が出てしまっている。全員が当然のこととしてできるように指導を継続していく。 開かれた学校作りについて、学年通信はほぼ週に一部のペースで発行している。何かあったときに保護者から早めに相談をもらえるケースが多く、今後もその関係を継続していきたい。 																	

平成30年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

		中学2年 平成30年度重点目標																	
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	項目1	①「学力向上に向けて」																	
		目標	「自ら学ぶ姿勢」を育成するため、学力の更なる向上、学習意欲の喚起を進め、今後の進路に向け、必要となる検定を取得させていく。																
		達成方法	授業の受け方・メモの取り方を身体化とさせるための授業の工夫を行う。また、小テストや補習体制を設定し、最後までしっかりと取り組ませる																
			進路実現及びグローバル化対応に必須である英語に重点を置き、教科と学年が連携しながら英語力向上を図る。目標として実用英語技能検定3級合格を目指す。																
	項目2	②「生きる力育成に向けて」																	
		目標	「日常の五心」と「7つのルール」の徹底を通して、社会人として生活するための基本的な作法を身につける。																
			道徳教育、ピアサポート教育を通して自分および学校の一員としての誇りを持たせる。																
		達成方法	基本的な生活習慣に関して徹底させる。																
	挨拶・時間厳守・整理整頓の基本的習慣を繰り返し指導していく。																		
	項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																	
		目標	「開かれた学校」を目指すための情報発信を行う。																
		方達成	manabaを活用し、学年通信・学級通信・学年進路部通信などの発行を通して、学年やクラスの活動に関して情報発信を行っていく。																
		項目1		項目2		項目3													
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度												
部署コード/平均		3.73	3.09	3.82	3.09	3.45	3.09												
1		3	3	3	3	3	4												
2		4	3	4	3	4	3												
3		4	3	4	4	3	4												
4		4	4	4	4	3	3												
5		4	3	4	2	4	3												
6		4	3	4	3	3	3												
7		3	3	4	4	3	3												
8		4	3	4	3	4	3												
9		4	3	4	3	4	3												
10		3	3	3	2	3	2												
11		4	3	4	3	4	3												
12																			
<p><取組状況・次年度への課題など> 概ねどの項目も学年間で共通意識を持って、取り組むことができた。達成度に関しても、まだ改善することが必要という認識も持っている ので、来年度もさらにしっかり取り組んで行かねばならない。</p> <p>①学力向上に向けて… ガイダンスや授業でのメモの身体化、自学自習の定着、教科では英語に特化して小テストなど最後まで取り組ませることに努めた。しかし 検定において取得が目標に達していない。来年度は引き続き学習内容の定着が不十分な生徒への指導の充実とともに、教科によっては 学習内容が高校の分野にも及ぶことを意識させ、これまでの内容の定着と成績中位層以上への学習方法や指導法について取り組みを強 化していきたい。</p> <p>②生きる力育成に向けて… 学習する姿勢は、基本的な生活習慣が崩れると取り組みに関わりが大きく影響するため、わかば等を活用しきめ細かく指導した。 周囲の人たちとの関わりを育てていくことに関して、部活動や行事にしっかり取り組むことに重点を置き、各々の生徒がクラスとして力を入 れていけるようにサポートしていった。合唱コンクールでは、各クラスとも昨年より成長し、よりよい演奏ができていた。下級生に手本となる よう意識して行動できるように指導していく。</p> <p>③学校教育環境整備と質向上に向けて… 定期的に情報を公開し、保護者会や面談などで出た意見は学年で共有し、可能な部分からフィードバックを行った。授業では、ロイロノート やマナバの活用が出来ているが、タブレットのアップデートが原因と思われるトラブルも少なくなく、まだ使い方の細かな指導が必要であ る。</p>																			

平成30年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

		中学3年 平成30年度重点目標																									
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	①「学力向上に向けて」																								
			目標	(1) グローバル人材育成の観点から、引き続き「自ら学ぶ姿勢」を持つための授業構成を構築し、2020年度の大学入試改革に向けた自己実現力を育成する。また、実践的英語力の獲得を目指し、英語4技能の向上のための取り組みを進めていく。																							
				(2) 生徒1人1人の進路実現や高校での科目選択に向けて、まずは「進路とは何か」という点に関して考えさせる。																							
				(3) 高校において必要なポートフォリオ作成に向けて、自己の意見を蓄積する習慣を身につけさせる。その中で、ICT機器の活用及び情報リテラシーの力をつけていく。																							
			達成方法	(1) 「妻中サクセス」としての授業の受け方を継続しながらも、探求型学習やアクティブラーニング型学習を授業の中に取り込んでいく。また、知識習得を自ら行えるように、スタディサプリを用いたe-learning、個別学習などの指導も行っていく。実践的英語力の獲得に向けて、検定試験の受験の推奨を継続する。また、スタディサプリEnglishなどのコンテンツや、妻中タイムなどの取り組みを通して英語力の向上を図る。																							
				(2) LHRにおいて職業適性試験を行うとともに、身近な人へのヒアリングや職場体験などを通して、進路について広い視野を持つ機会を用意する。その中で、自分の進路について改めて考えることにより、学習へのモチベーションを上げることに繋げていく。																							
		(3) 大学入学における志望理由書の作成に向けて、高校1年からポートフォリオを蓄積していく必要がある。その準備段階として、自己の考えや活動内容をICT機器を活用しながら蓄積する練習を行う。その中で、いかに情報を整理し伝えるかという点についても意識させていく。																									
		項目2	②「生きる力育成に向けて」																								
			目標	(1) 「7つのルール」に関して、意識しなくても徹底できる環境を作ることで、社会人として必要な生活の基本を自分のものとしてできるようにする。																							
				(2) 道徳・特別活動・行事を通して自己肯定感を持てるようにし、それらの活動の中で最後までやり通す力を身につける。また、あらゆる機会に協働作業を体験することにより、課題解決力を身につける。																							
達成方法	(1) 7つのルールの中の大半はこの2年間で徹底できたと考えているので、ルールの中から重点的に課題を設定し、ガイダンスやクラスでの指導を試みにつけていく。																										
	(2) 中学3年は平和学習旅行、職業体験、Global Arts Festival 文化の部・体育の部、合唱コンクールと、活動の機会が非常に多い。それらの活動に対してその意義を確認するとともに、前向きに取り組むことで成長できるように促していく。																										
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																										
	目標	開かれた学校を目指すための情報発信を更に継続するとともに、保護者会・面談・学校評価アンケートの結果を今後もフィードバックしていく。																									
	方達成	2年間、学年通信・学級通信・進路部通信によって情報発信を進めるとともに、保護者会では学校評価アンケートの結果をもとにフィードバックを行ってきた。そのスタンスを今後も継続していくことで、情報発信を進めていく。																									
		項目1		項目2		項目3																					
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度																				
部署コード/平均		3.75	2.92	3.75	3.25	3.67	3.33																				
1		4	3	4	3	4	3																				
2		4	2	4	3	4	3																				
3		3	3	4	3	3	3																				
4		3	3	3	3	3	3																				
5		4	3	4	3	3	3																				
6		3	3	4	4	4	4																				
7		4	3	4	3	4	3																				
8		4	3	3	4	4	4																				
9		4	3	4	3	4	3																				
10		4	4	3	3	4	4																				
11		4	1	4	3	4	4																				
12		4	4	4	4	3	3																				
13		4	3	4	4	4	4																				
14		4	3	3	3	4	3																				
<取組状況・次年度への課題など>																											
①学力向上に向けて 自ら学ぶ姿勢を意識して、反転学習、プレゼンテーション、課題学習などを取り入れることにより、多くの教科で生徒の自主性や協調性を活かす授業を行うことができた。ただ、従来型授業からの脱却という点で生徒・保護者ともに概念を共有できていない面もあるので、今後丁寧な説明を繰り返し、新しい大学入試・新しい社会構造に対応できるような力をつけていけるよう取り組みを継続していきたい。英語特化という点では、英検の合格目標も達成しつつあるので効果が出ていると考えられる。今後は個に応じた学習を自分で切り開けるように仕掛けをしていきたい。 進路意識やポートフォリオ作成に関しては、「わかば」や「活動メモ」の活用をしている最中である。高校1年生に向けて自分で情報を整理してまとめていく力が必要になるので、ガイダンスを実施しながら情報の蓄積方法についても今後指導していきたい。																											
②生きる力育成に向けて 様々な行事において振り返りを大事にしながら取り組んでいく点については、合唱コンクールを始めとして成果を出すことができたと考えられる。高校では高校2年次のコース別課題探求旅行に向けて協働学習、課題解決学習を進めていくので、それらの活動を大事にしていきたい。 ただ、日頃の生活に関してはまだまだ注意していく必要がある点が多い。高校生活に向けては校則の意義を再確認しながら指導していきたい。																											
③学校教育環境と質向上に向けて 中学3年間で学年通信・学級通信・進路部通信などは積極的に発行することができた。manabaとの時間差があった点は反省であるが、今後は留学生の対応も出てくるので積極的にmanabaを活用していきたい。面談や学校評価アンケートの結果は、中3が3学期の保護者会がないので高1の年度始めでフィードバックできればと考えている。																											

平成30年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

		高校1年 平成30年度重点目標																	
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	①「学力向上に向けて」																
			目標	基礎学力の向上と毎日、学習する習慣を身につける。															
				自ら学ぶ姿勢を身につける。															
			達成方法	・生徒が自ら学ぶ姿勢を育てるために色々な企画を用意し、学年全体で学力向上を目指す雰囲気確立する。															
				・常に、前向きな思考で物事が捉えられるように、得意科目や個々の生徒の強みを伸ばせるように指導する。															
				・全員に配布した能率手帳に、予定・学習時間とその内容・提出物の管理などを記録させることで、学習計画や時間の自己管理ができるようにする。															
	・生徒が活動したこと・自ら学習したこと・振り返りなどを e-ポートフォリオに入力する習慣をつけさせるよう指導する。																		
	・高校1年時最初に高校3年の卒業式直前に提出する大学入学報告書を書かせることにより、今後の進路に関する問題点を明確化させる。																		
	項目2	②「生きる力育成に向けて」																	
		目標	・基本的生活習慣の確立																
			・自ら課題を見つけ、自分で解決していく力を持つ。																
		達成方法	・自分の目標を持ち、それを達成するための行動力を持つ。																
・基本的生活習慣の確立の1つである時間管理(朝の妻中タイム登校)に関して特に注意して指導する。																			
・自発的学習に向かう環境作りを行う。(様々なプログラム・放課後学習・夏期講習などを工夫する)																			
・授業や個人面談などを通じて、進路目標を持てるような指導する。																			
・プレゼンテーション能力を養うよう指導する。																			
・提出物などの期限は必ず守るように指導する。																			
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																		
	目標	・保護者対象の進路ガイダンスの充実																	
		・学年通信や進路通信の充実																	
	達成方法	・大学入試情報や学年の進路指導状況、模試の結果などについて保護者に伝えていく。																	
・2021年度新課程入試の情報に関しては、保護者ガイダンスやmanabaを通じてできるだけ早く情報が共有できるようにする。																			
・脳の科学や心理学的エピソードを交えて、学習効率の上げ方を生徒に伝えていく。																			
		項目1		項目2		項目3													
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度												
部署コード/平均		4.00	2.80	3.90	2.90	3.40	3.00												
1		4	3	4	2	4	4												
2		4	3	4	3	3	2												
3		4	3	4	2	3	3												
4		4	2	4	3	3	3												
5		4	3	4	3	4	3												
6		4	2	4	2	3	3												
7		4	3	4	3	4	3												
8		4	3	4	4	3	3												
9		4	3	3	4	3	3												
10		4	3	4	3	4	3												
11																			
12																			
<p><取組状況・次年度への課題など></p> <p>項目1:生徒が自ら学ぶ姿勢を育てるために色々な企画を用意し実行してきたが、生徒全体に企画意図が浸透するまでには至らなかった。</p> <p>企画に対しての目的や、なぜ高校1年生の時期に必要なかということを常に説明して実施するように心がけたが、意図をきちんと理解している生徒と表面的には従って実施しているが、本質を理解していない生徒と2分化されているように感じた。次年度は、生徒全体の共通理解を得ることと生徒が自ら考え行動できるようにすることを念頭にいれ、新しい企画を計画していきたいと考えている。</p> <p>項目2:基本的生活習慣に関しては、学年として最も重要と考え取り組んできた項目である。朝の妻中タイムに関しては、1年間通して8:20に教員が教室に入り指導した。また、学年全体で取り組む姿勢を生徒に理解させるために担任のローテーションも行った。2学期には、学年全体に浸透した感があったが、まだ完全に重要性を理解して行動しているわけではない。次年度に向けては、スケジュール管理の重要性と生徒個々が自分にあった学習習慣を確立するように、さらに個人面接などを多くして個々に対応していきたい。</p> <p>項目3:2020年の入試改革についての様々な情報を保護者に詳しく伝えることが重要であり、次年度に行いたいことでもある。しかし、大学サイドも入試改革については、試行錯誤の状況であることも感じられ、最終的には現高校1年生が高校3年になるまで個々の情報は出そろわないように思える。情報は整理して伝えないと、不安と混乱を与える可能性があるため、今後も吟味して生徒・保護者に伝えていきたいと考えている。学習効果を上げる心理学的脳科学的エピソードについては今後も研究し、わかりやすく伝えていきたい。</p>																			

平成30年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

		高校2年 平成30年度重点目標																	
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない	項目1	①「学力向上に向けて」																	
		目	大学受験に向けての意識付け。大学・学部・学科までよく調べ、オープンキャンパスや説明会に参加する。基礎力の最終確認と応用力の育成。																
		標	模試結果の分析を行い、次の模試への意識を高める(生徒、教員)。																
		達成方法	進路ガイダンス、卒業生による進路講演を通じて学力向上に対する意識を高める。 朝SHRで語彙を増やすための漢字テスト、帰SHRでのコース別小テスト実施。 模試の前には、各科目対策を行い、受験後には解き直し、振り返りを行わせる。模試のデータを用いて生徒へフィードバックを行う。																
	項目2	②「生きる力育成に向けて」																	
		目	失敗を恐れずチャレンジする姿勢を養う。自ら考えて行動することができる。 「7つのルール」を意識せずともそのような行動ができる。																
		標	自分の置かれている立場を自覚できる。																
		達成方法	学校内外問わずに、様々なプログラムや行事に参加できるような環境を整える。 歴史文化研究旅行、体育祭、文化祭、その他の学校行事を通じて課題解決能力を養う。 失敗をしても決して咎めるのではなく、その経験を次に活用できるよう助言する。また、よくできたこと、チャレンジしたことは評価する。																
	項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																	
		目	manabaを通じて保護者との情報共有、連携を行う。																
		標	タブレット、スタディサプリの積極的活用。																
		達成方法	manabaで情報を発信する。 適切な量のスタディサプリ課題動画の視聴を行えるようアドバイスをする。スタディサプリEnglishの活用を勧める。																
		項目1		項目2		項目3													
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度												
	部署コード/平均	3.82	3.64	3.82	3.27	3.36	3.09												
	1	4	3	4	3	4	3												
	2	4	4	4	4	3	4												
	3	2	4	4	4	4	3												
	4	4	3	4	3	3	3												
	5	4	3	3	3	3	3												
	6	4	3	4	3	4	3												
	7	4	4	4	3	3	2												
	8	4	4	4	4	4	3												
	9	4	4	4	3	3	4												
	10	4	4	4	3	3	3												
	11	4	4	3	3	3	3												
<p><取組状況・次年度への課題など></p> <p>項目1:学力向上に向けて、学年で年度当初に掲げた目標について継続して取り組むことができた。また、進路ガイダンスを多く実施し、教科ごとの学習アドバイスだけでなく、授業担当者からの大学受験に向けた具体的な学習アドバイスを冊子にまとめて配布した。各模試に向けての目標設定、対策、振り返りまで継続して行い、「模試を有効に活用する」意識を概ね共有できた。今年度は模試の活用の仕方がある程度教員で段取りをしたが、次年度や個人で受験する模試でも進路実現に向けて生徒一人一人が自律的に取り組んでくれることを期待している。目標に掲げた学力向上に向け、地道にほぼ毎日朝の漢字・語彙テスト、放課後のコース別小テストを実施することができた。</p> <p>項目2:生きる力育成に向けて、「チャレンジすること」、自然に「7つのルール」を実行できること、「自分の立場を理解すること」を目標とした。まだ消極的な雰囲気があるものの、留学にチャレンジしたり、資格試験、積極的に外部コンテストにエントリーしたり、学校行事にボランティアで参加する生徒も現れた。周囲から刺激を得て新たなチャレンジができたのは素晴らしいことである。チャレンジすること、したことをもっと学年で共有できたら雰囲気も変化するとも考えられるが、プライベートな部分でもあるのでそこまでは踏み込まなかった。生きる力育成に向けて、学年全体で生徒たちの取り組みを暖かく見守った。今後、その成果が出てくることを期待するとともに、今後も激励しつつ、見守っていきたい。</p> <p>項目3:「学校教育環境整備と質向上に向けて」保護者とはmanabaを通じた情報共有、連携を目標とし、情報の共有をはかった。生徒はリマインダを設定してmanabaを見る習慣が概ねできており、manabaを見ることで情報を得て、学習に活用することができつつある。このような環境が整った状況で、授業担当者はmanabaを使った授業の補足や模試アドバイス、小テストなどを積極的に行うことができた。</p> <p>スタディサプリ動画については授業で使っている科目に偏りがあるが、教科の特性もある。動画は授業での活用、宿題としての活用が中心だが、生徒のなかには模試前の復習や苦手克服のため、動画の積極的な活用も見られた。一方で、スタディサプリEnglishは英会話の要素が強く、これも活用を勧めるにとどまった。</p>																			

平成30年度 学校経営計画 各学年重点目標と達成方法

		高校3年 平成30年度重点目標																	
重要度 [4]大変に重要 [3]やや重要 [2]あまり重要でない [1]重要でない 達成度 [4]75～100% (ほぼ達成した) [3]50～74% (まあまあ達成した) [2]25～49% (あまり達成できなかった) [1]0～24% (ほとんど達成できていない)	項目1	①「学力向上に向けて」																	
		目 標	コアクラスからでもGMARCH合格に対応しうる学力を養う。																
			コアクラス:GMARCH受験に必要な学力を目指し、各種進路希望に余裕を持って臨めるようになる。																
			アドクラス:目標を下限修正することなく、高い目標に向かって持続的に努力できる力と精神力をつける。																
	達成方法	放課後延長自学自習の実施																	
		進路ガイダンスによる指導																	
		進路カルテの活用																	
	項目2	②「生きる力育成に向けて」																	
		目 標	「7つのルール」の徹底により、他者を思いやる心を育成し、「人のために生きる」価値と喜びを感じられるようになる。																
			クラス種別を問わず、英語力、プレゼンテーション能力を向上する。																
			「与えられる人」から「自ら考えて行動する人」になる。																
達成方法	マナー、モラルを重視し、中学時と同様に指導する。マナーやモラルは、人の生き方・生き様に直結してくることをLHR等で理解させる。																		
	今、何をすべきなのかを常に考えさせる機会をもつ。																		
	「聞く力」の育成と徹底。																		
項目3	③「学校教育環境整備と質向上に向けて」																		
	目 標	開かれた学校を目指すのと同時に、進学校にふさわしい学習面以外の精選を図る。																	
	方 達 成 方 法	学校評価アンケートのフィードバックを積極的におこなっていく。																	
		項目1		項目2		項目3													
		重要度	達成度	重要度	達成度	重要度	達成度												
	部署コード/平均	3.82	2.64	3.82	2.82	3.09	2.27												
	1	3	2	4	3	3	2												
	2	4	2	4	3	4	2												
	3	4	3	4	3	3	3												
	4	4	2	4	2	3	2												
	5	3	3	4	3	4	2												
	6	4	2	3	2	3	2												
	7	4	3	3	2	3	2												
	8	4	3	4	3	2	2												
	9	4	3	4	4	3	3												
	10	4	2	4	3	3	2												
	11	4	4	4	3	3	3												
<p><取組状況・次年度への課題など> 総括:重要度・達成度ともに数値が低く、目標の共有の不徹底が達成度の数値にもつながっていると考えられ、責任を痛感している。 アド・コア含め、各種試験や入試に向けて、個別の知識へ向かう意欲は高3になって高まったかもしれないが、現在まさに必要とされている「学びに向かう力」が弱く、この部分を伸ばしていくことができなかつたことが決定的な改善点である。この部分は低学年から徹底して訓練していく必要があり、そのためには、単に知識のみを注入するだけでない教員の授業そのものの内容・構成の大胆な意識改革が必要であると感じた。 放課後延長学習に関しては、3学期は土曜日・日曜日も実施し、概ね好評であった。 高3だけでなく、放課後延長学習や受験対策に関しては、学年裁量で進めるのではなく、学校全体でシステムを構築し、運用していくとさらに効率よくおこなえる。 タブレットの活用は、実施できたと考えている。</p>																			